

グラス

岩佐なを

はるかかなたの夕暮れからとどく
うすみどりがかったひかりを反射させ
ふちをきらきら
きらきらするふちをもったグラス
両の手で大切になぎる
手のひらの広さにおさまる
グラスの底
手のひらのぬくもりを信じない
グラスの底のやみからは
樹木がそびえていて
枝の眼はたちまち
つややかな葉にかわり
幹は風をうけて揺れている
背が高くなるのはメタセコイア
背筋が痛そうな一本
夕暮れを揺らすと
グラスのふちから内側に
酒が流れ落ち
樹木が濡れてゆく
少しして
うつわを割った